

クラブの理解と知名度を上げる「挨拶＆交通立ち番」「清掃活動」

～赤松スポーツクラブ・シャチ(佐賀県佐賀市)

1. 少子高齢化や組織弱体化を懸念して始まったクラブづくり

赤松スポーツクラブ・シャチ(以下、シャチ)は、佐賀市の市街地に位置する赤松小学校区にあり、平成20年3月に設立された2年目の総合型地域スポーツクラブです。

地区人口は8,790人で、11町区の自治会から成り立っています。校区の中心には城跡があり、周囲を外堀で囲まれた城下町です。

クラブ設立のきっかけは、ある町区の自治会長さんと地域の現状や危機管理の対応等について話していた時に、「我々の住んでいる校区は、少子高齢化や組織の弱体化が懸念される」という話になり、地域の活性化を図るために総合型のクラブ設立を自治会と住民が一緒になって民間主導で取り組むことになりました。

現在の活動クラブは6種目で、今年度の正会員数は75名です。

年間予算はtoto助成金100万と自己資金30万の計130万円で活動しています。

2. 会員が思うように集まらない状況をなんとかしたい

これまで、県クラブ育成委員等の助言指導により総合型クラブとしての組織等は整ってきたのですが、それに伴う会員数が思うように集まらないという背景があります。住民の希望している事業等をいろいろしているつもりですが参加者が今ひとつ、という現状です。

月1回の運営委員会では当然のことながら毎回会員増のことが議題に上がります。いろいろ協議する中で、一つ議題に上がったことが総合型クラブ自体の理解不足と「赤松スポーツクラブ」の知名度の低さでした。これは、アンケート調査結果にも出ています。

シャチの目指すクラブは、新規のクラブとして、日頃あまり運動をしない人、嫌いな人をいかに誘い出してスポーツの良さや人との関わりの楽しさを知ってもらうかでした。

そんな中、上記の問題点は大変ショックでした。

そこで、まずクラブの存在を知ってもらうには、我々スタッフが地域の中に率先して入って行き住民と関わることで信頼を得ようと考えた結果が「挨拶＆交通立ち番」「清掃活動」でした。



「挨拶＆交通立ち番」活動

3. 住民と信頼関係を築くための活動

住民との信頼関係が芽生えていないところに地域としての総合型クラブづくりは成り立たないと思います。

毎週月曜日の「小学生登校時の交通立ち番」月1回のお城周辺の「清掃活動」は、シャチのネームが入ったジャンパーを着用しているため、名称の広報には十分効果が上がっています。

また、活動の実施は、続けていくうちに地域への貢献という形で住民から受け入れられ、今では学校及び住民の方から感謝されています。

総合型クラブを通して地域づくりをしようとしている以上、まず地域住民の方に総合型クラブを認めてもらうことが先決で、そこから仲間づくりが始まり、総合型クラブの発展に繋がって行くと思います。



クラブのネーム入りジャンパー(背中)



月1回のお城周辺の「清掃活動」

ともあれ、設立から2年間は名称の広報と地域住民との信頼づくりの期間だったと思います。来年は設立3年目を迎えるので、懸案になっている会員増と指導者・スタッフの充実を目指し、総合型クラブという枠にとらわれないで、地域に貢献出来るクラブづくりを確立して行きたいと思っています。

(須藤義仁 赤松スポーツクラブ・シャチ クラブマネジャー)

【クラブの連絡先】

赤松スポーツクラブ・シャチ事務局

〒840-0022 佐賀市中の館町4-10 赤松公民館内 須藤義仁

TEL・FAX 0952-23-6002